

R3 建築研究所アスベスト含有調査業務 仕様書

1. 適用

本仕様書は、国立研究開発法人建築研究所が発注する「R3 建築研究所アスベスト含有調査業務」に適用する。

2. 概要

本業務は、建築研究所構内施設等の外壁塗装材等のアスベスト含有調査を行うものである。

3. 履行場所

茨城県つくば市立原1
国立研究開発法人建築研究所

4. 業務内容及び仕様

1) 業務内容

- ・ アスベスト含有分析

別紙1に示す調査対象箇所から採取した試料を主材と下地調整材に分けて検体を作成し、検体ごとに以下のとおりアスベストの含有分析を実施、報告書を作成する。なお、採取箇所については、既存近似色にて簡単な補修を行うこと。これによりがたい場合は協議により決定する。

分析対象 : アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

分析方法 : 定性分析方法 (JIS A 1481-1) または (JIS A 1481-2) による

サンプル数 : 1箇所あたり3サンプル

採取箇所数 : 24 (別紙1による)

5. 一般事項

1) 発注者又は受注者の負担範囲

- ・ 業務の実施に必要な施設の電気及び水道等の使用に係る費用は、発注者の負担とする。
- ・ 業務に必要な機材、仮設材、養生材及び重機等は、受注者負担とする。
- ・ 廃棄物処理は、受注者の負担とする。

2) 関係法令等の遵守

- ・ 業務の実施に当たり、適用を受ける関係法令を遵守すること。

3) 業務責任者

- ・ 受注者は、業務責任者を定め建築研究所の本業務担当者（以下、担当者という）に届け出ること。
- ・ 業務責任者は、品質、工程、安全等の業務管理を行い、業務の円滑な遂行を図ること。

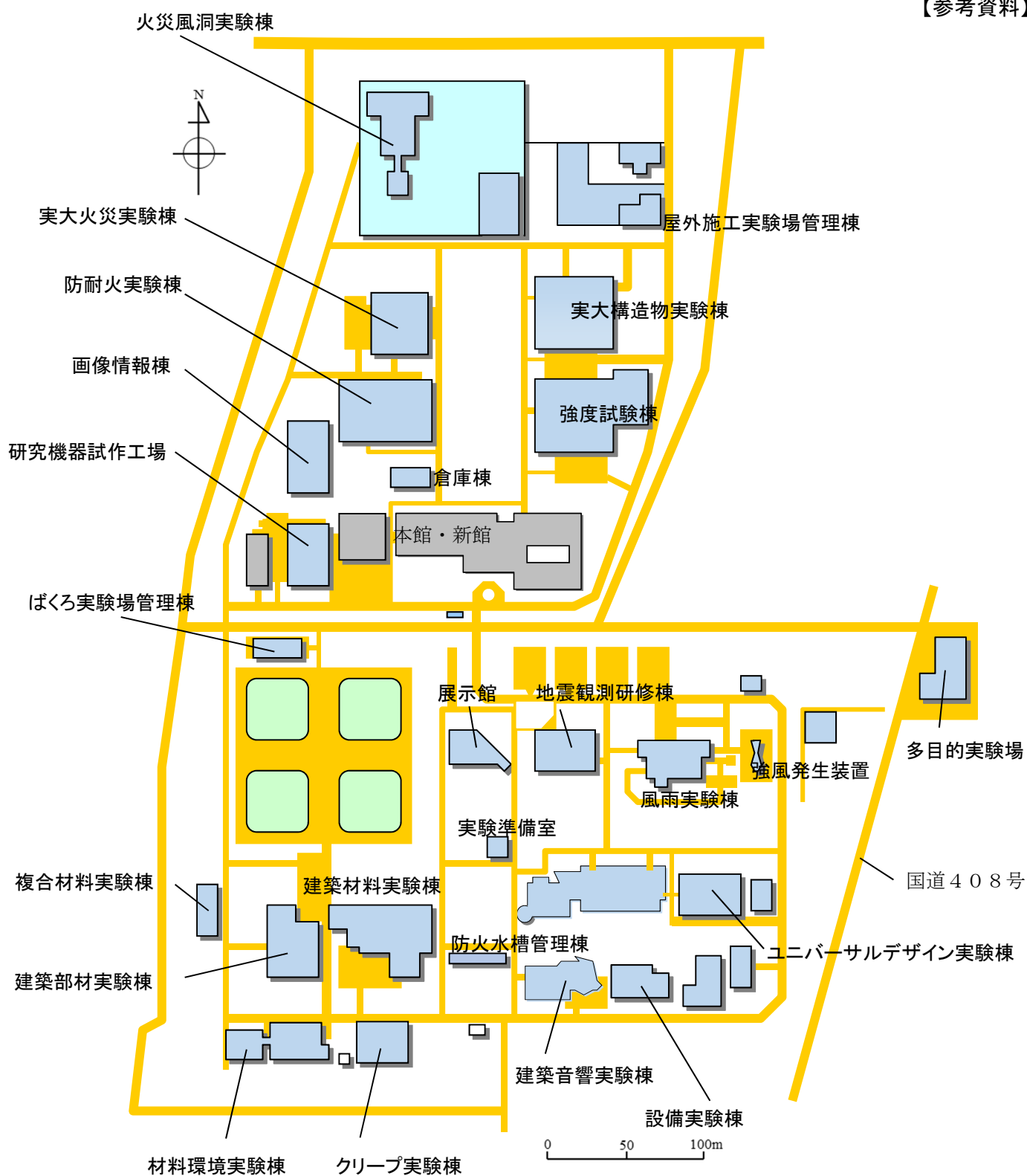
4) 業務工程

- ・ 作業開始前に、業務工程表を作成し担当者に提出、協議のうえ業務日を決定すること
- ・ 作業日が休日に掛かる場合、休日作業届けを担当者へ提出すること。

- 5) 服装等
 - ・ 業務関係者は、作業に適した服装で業務を行うと共に、名札または腕章を付け作業を行うこと。
 - 6) 担当者の立会い
 - ・ 作業等に際して担当者の立会いを求める場合は、あらかじめ申し出ること。
 - 7) 発生材処理
 - ・ 金属類は引き渡しとし、担当者の指定する構内に集積すること。その他の発生材は、関係法令に従い適切に場外処分とする。
 - 8) 共用施設の利用
 - ・ 駐車場、建物内の便所、エレベーター等の一般共用施設は利用することができる。
 - 9) 持込資機材の残置
 - ・ 業務が複数日にわたる場合、担当者の承諾を得た場合には、実施期間中は構内に持込資機材を残置することができる。なお、残置資機材の管理は受注者の責任において行うこと。
 - 10) 養生
 - ・ 作業現場の搬出入場所等は、汚染又は損傷しないよう適切な養生を行うこと。
 - ・ 万一、汚染及び損傷等した場合は、受注者の負担により原状回復を図ること。
 - 11) 後片付け
 - ・ 業務の完了に際しては、当該作業部分の清掃を行うこと。
6. 提出書類
- ・ 業務報告書 2 部（含有分析結果報告書、作業報告書、業務実施前・中・後写真等）
7. 履行期限
- 契約締結の翌日から令和 4 年 1 月 2 0 日（木）とする。
8. 検査
- 業務完了後は、当所担当者による検査に合格しなければならない。
9. その他
- ・ 本仕様書に疑義が生じた場合は、受発注者間で協議を行うものとする。
 - ・ 本仕様書に明記のない場合でも、技術上当然必要と思われるものについては、これを具備しなければならない。

以 上

担当者 企画部 情報・技術課 濱崎玲奈



構内配置図 (nonScale)

R3建築研究所アスベスト含有調査業務

【別紙1】
今回調査対象：◎

	建物名	建物完成年	構造	既存外壁仕上げ材	石綿含有調査
1	構造複合実験棟	1997(H9)	S-2	大型ALC板 F(M) 化粧ケイカル板 厚3.2 アルミジョイナー付き (クーリングタワー置場)	—
2	実大構造物実験棟	1978(S53)	SRC-8 B-1	コンクリート打放しAP	◎
3	強度試験棟	1977(S52) 増築 1988(S63)	SRC-3 増築 S-2	押出し成形セメント板 ア60 合成樹脂エマルジョン系複層仕上 塗材	◎
4	風雨実験棟	1976(S51)	RC-2	コンクリート打放し仕上げAP吹付	◎
5	強風雨発生装置		RC-1	打放し仕上B種 複層模様吹付	◎
6	建築基礎・地盤実験	1995(H7)	S-2 B-1	断熱フッ素メタリック塗装鋼板パネル	—
7	建築環境実験棟	1978(S53)	RC-4	コンクリート打放し複層塗材RE	確認済
8	通風実験棟	1998(H10)	S-2	複合板+木毛セメント板+フレキシ ブルボードの上フッ素樹脂塗装	—
9	建築設備実験棟	1995(H7)	RC-2	コンクリート打放し(B種)複層塗材 RE	◎
10	建築音響実験棟 (増築)床衝撃音試験棟	1979(S54) 増築 2007(H19)	RC-1 B-1 増築 RC-2	コンクリート打放し仕上げB種複層 模様吹付	◎
11	防耐火実験棟	1978(S53)	SRC-2	打放し仕上げB種 複層塗材仕上げ(ローラー塗り) 外壁仕上材はGL-100まで	◎
12	実大火災実験棟	1976(S51)	SRC-7	コンクリート打放しAP	◎
13	火災風洞実験棟	1998(H10)	S+RC-1	ALC版 防水形複層仕上塗材E	◎
14	建築部材実験棟	1978(S53)	RC-2	防水形複層仕上塗材E	◎
15	クリープ実験棟	1975(S50)	RC-1	コンクリート打放しAP	確認済
16	ばくろ試験場管理棟	1971(S46)	RC-1	モルタルのうえ吹付けリシン材(ア クリル熱)	◎
17	建築材料実験棟	1978(S53)	RC-2	コンクリート打放し仕上げB種 複層模様吹付け	◎

	建物名	建物完成年	構造	既存外壁仕上げ材	石綿含有調査
18	複合材料実験棟	1994(H6)	S-2	ALC版+アクリルリシン吹付	◎
19	材料環境実験棟	1979(S54)	RC-2	打放し仕上げB種 複層模様吹付け	◎
20	構工法実験棟	1998(H10)	RM-2	RMユニット表わし	—
21	屋外施工実験場管理棟	1979(S54)	RC-1	コンクリート打放し仕上げ(B種) 複層模様吹付け	◎
22	ユニバーサルデザイン実験棟 (旧 基礎土質実験棟)	1979(S54) 内部改修 2006(H18)	RC-2	打放し仕上げB種複層模様吹付け 打放し仕上げB種AP吹付け	◎
23	地震観測研修棟	1979(S54)	RC-1	コンクリート打放し仕上げ(B種) 複層模様吹付け(ローラー施工)	◎
24	展示館	1981(S56)	RC+S-1	25角磁器質モザイクタイル (施釉) コンクリート打放し(B)AP吹付	◎
25	画像情報棟	1988(S63)	RC-2	コンクリート打放しB種の上複層塗 材(E)	◎
26	研究機器試作工場	1979(S54)	RC-2	打放し仕上げB種 複層模様吹付け	◎
27	多目的実験場管理棟	1983(S58)	RC-1	コンクリート打放し仕上げB種 マスチック塗材C	◎
28	実験準備室(旧集会所)	1979(S54)	RC-1	コンクリート打放し仕上げB種 複層模様吹付け	◎
29	防火水槽管理棟	1979(S54)	RC-1	コンクリート打放し仕上げ(B種) 複層模様吹付け	◎
30	倉庫棟	1979(S54)	RC-1	打放し仕上げB種 複層模様吹付	◎
調査対象箇所					24